

松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「やまゆり教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp

新体制となりました。

新緑の気配が色濃く感じられる季節となりました。各園・学校におかれましては、新年度の慌たしさも一区切りを終え、本格的な活動に邁進されておられることかと存じます。

当センターでは、本年度組織を一部改編し、新体制でのスタートを切りました。これまで、校務系の ICT については教育総務課が所管しておりましたが、「教育システム係」を新設し、教育 ICT 全般を一元化して、当センターで所管いたします。改めまして当センターの組織・スタッフを、主な担当業務と合わせましてご紹介いたします。

子ども支援研究センターの組織・主な業務・スタッフ

【研修・ICT 教育係】

- 教育研究・教職員研修に関すること
- ICT 教育の推進に関すること

係 長：脇 清人
指導主事：刀根 曜
指導主事：廣瀬 有一

ICT
支援員

【教育システム係】(新設)

- 教育 ICT の整備・運用に関すること
- 教育 DX の推進に関すること

係 長：河合 春樹
主 任：森口 真嗣
係 員：青木 駿介

<教育課題研究>

長期研修員：堀田 哲也
長期研修員：宮本 光将

【相談・事務補助、体育室貸館担当】

- 相談・事務全般に関すること
 - 体育室貸館に関すること
- 相談・事務職員：沖林 恵美子

【学びアシスト係】

- 教育相談に関すること
- 外国人児童生徒教育の推進に関すること

係 長：川西 雅之
指導主事：辻本 泰介 (学校支援課人権教育係)
外国人児童生徒教育コーディネーター：小筆 邦昭
(母語スタッフ、日本語指導員、日本語指導ボランティア)

【業務全般の統括】

所長：御堂 栄治



【松阪教育支援センター (松阪市・明和町・多気町)】

- 「鈴の森教室」「やまゆり教室」での通級指導に関すること
 - 不登校児童生徒に係る支援・研修・保護者相談に関すること
- 指導員：宮村 嘉伸 指導員：野呂 郁子
指導員：田口 寛人 指導員：早川 尚子

「ちゃちゃも」の
LINE スタンプ、
ご購入はこちらから



書籍購入、ご希望をお寄せください。

今年度も教育関係書籍の購入をします。希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで、子ども支援研究センターまでお知らせください。

また、センター蔵書の貸し出しも行っていきます。1回の貸出期間は2週間です。当センターのホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。

★各校の研究集録、提出いただきました。ご活用ください。★

たくさんの学校・園から研究（実践）集録を届けていただきました。いずれの収録にも、今の課題に即した、充実した実践がまとめられています。内容も多様であり、読んでいただくだけでも良い個人研修となるのではと思います。

こちらは、当センターにて閲覧できますので、今年度の授業や研究にお役立てください。

「教育相談」迷いや悩み、まずご一報ください。

松阪市子ども支援研究センターでは、各園・各学校の先生方を支える取組を行っています。

その一つが教育相談です。しかし、「こんなことで悩んでいるのだけれど、どうしたらいいのか…」と悩みを抱える先生の数は少なくないように感じられます。この機会に当センターの教育相談体制を簡単に紹介いたします。

1. 登校渋り・不登校に関する悩み

☎ 0598-26-1900

(1) 「この子、なんだか最近遅刻しがち、登校渋りじゃ…」

早目の相談を。問題が大きくなる前に、動き出してください。

「こんなことで電話していいのかな…」と悩む前に、まずは連絡をください。

(2) 「学校に来られなくなってしまった…」

松阪教育支援センターに相談してみませんか。次の二つの教室があります。

○鈴の森教室・・・小集団の中で、元気を回復させ、学校復帰を支援

○やまゆり教室・・・個人に寄り添い、元気を回復させ、学校復帰を支援

2つの教室を知っていれば「こんな教室もあるよ。一緒に話を聞いてみようか？」などの声掛けもできます。センターは学校や担任と協力し、子どもや保護者の悩みに寄り添います。また、必要や状況に応じて「面接相談・電話相談・訪問相談」も行っていきます。

(3) 「どうやったらいいのか…、専門家の話を聞きたい」

臨床心理士によるカウンセリング

不登校という事象には、多くの要因が複雑に絡み合っていることが少なくありません。「あの子、集団生活が難しいのだけれど、どのように学校生活の場で接していくとよいのか…」、方針が定まるだけでも気持ちはラクになります。また、保護者の思いや悩みを臨床心理士とのカウンセリングで解きほぐしていくことも、問題解決の一つの手段です。

2. 保護者・児童生徒との関係や対応上の悩み

☎ 0598-23-7939

「この子・この保護者とはどう関わればいいのかしら？」

悩みを一人で抱えない

○広い見識と深い専門性をもった臨床心理士に相談してみるのも一つの方法です。

○第三者の立場であるセンター職員に相談するのもよいかもしれません。ヒントが見つかるかもしれません。